





## 5 通信テスト(電波状態の確認)

- 注意** 警報器が電池切れ、故障の場合は通信テストができません。
- 注意** 電波が届かない警報器がある場合、通信テストが終了するまでに最大20分程度かかることがあります。正常に終了する場合と比較して大幅に長くなります。
- 注意** 通信テストを続けて行わないでください。再度、通信テストを行う場合には、通信テストが終了してから最低1分以上経過した後に行ってください。連続して通信テストを実施すると、通信テストが正常に終了しないことがあります。
- 注意** 複数の警報器で同時に通信テストを行わないでください。通信テストが正常に終了しないことがあります。

警報器を新たに取り付けた場合や、警報器の取り付け場所を移動した場合には、必ず通信テストを実施し、正常に動作することを確認してください。

通信テストは全ての同一グループの警報器に、正常に電波が届くかどうかを確認するためにあります。任意の警報器のテストボタンを長押しし(約3秒間)、「ピッピッ」と鳴ったら手を離してください。「通信テストを始めます」と鳴り、通信テストを開始します。通信テスト中は、正常に通信できた全ての警報器から「通信テスト中です」と鳴ります。全ての警報器と正常に通信が行える場合は、最大10分程度でテストは終了します。

## 火災以外で動作する場合

- 注意** 火災以外で動作した場合は、異常のないことを確認し、室内の換気をするか火災警報音を止めてください。警報器は取り外さないでください。
- レンジ、エアコン、ストーブなどの熱がかかった時
- 調理の熱などがかった時
- ※頻繁に動作すると電池寿命が短くなる場合があります。

※このテストは警報器の機能と警報音を確認するものです。

**警告** 高い所で作業ですので、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようにご注意ください。

点検の時、ライターの炎を使用しないでください。警報器の故障や火災の原因になります。

正しくご使用いただいても、電池の消耗や故障などで正常に動作しない場合があります。下記の要領で1カ月に1回、および1週間以上留守にされた時、正常に動作するかテストを行ってください。

取り付け位置を変えた場合は通常のテスト以外に、必ず通信テストを行い、全ての警報器に電波が届くことを確認してください。

## 8 電池切れを自動でお知らせ【電池切れ検知機能】

本警報器は電池の残量が少なくなったとき、自動的に「警報音」でお知らせします。

**注意** 電池寿命は約10年間ですが、お客様の使用状況により、電池寿命が短くなる場合があります。

### 電池切れになったとき…

電池切れを検知した警報器は動作表示灯が約10秒おきに1回点滅し、電池切れ警報音が約50秒おきに「ピッ」、約1時間おきに「ピッ」電池切れです。ピッ電池切れです。ピッ電池切れです。と鳴ります。連動先の警報器では、動作表示灯が約50秒おきに1回点滅し、電池切れ警報音が約50秒おきに「ピッ」、約1時間おきに「ピッ」別の警報器が電池切れです。ピッ別の警報器が電池切れです。ピッ別の警報器が電池切れです。と鳴ります。

※電波状態により連動先の警報器が鳴るまでに数分かかる場合があります。

### 電池切れ警報音を止めるには

電池切れを検知した警報器のテストボタンまたは引きひもを操作すると全ての警報器の電池切れ警報音が一時停止します。電池切れを検知した警報器のみ約12時間後に再び電池切れ警報音が鳴ります。連動先の警報器でテストボタンまたは引きひもを操作すると、電池切れを検知した警報器以外の電池切れ警報音が停止します。

※一時停止中、再び操作するとその時点から電池切れ警報音が約12時間停止します。

※動作表示灯は点滅し続けます。工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

## 12 お手入れのしかた

熱感知部の周囲にホコリやくもの集がつくと、熱を感知しにくくなります。警報器がより良い状態で動作するように、お手入れをお願いします。

**警告** お手入れは高い所でのご作業ですので、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようにご注意ください。

- 年に1回は乾いた布で熱感知部の周囲のホコリやくもの集を取り除いてください。
- 表面の汚れは、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから拭き取ってください。
- ※水道水などによる丸洗いはしないでください。誤動作や故障の原因となります。
- ※洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーは表面を傷めますので絶対に使わないでください。

お手入れ後は「6.ご使用方法 テストのしかた」に従ってテストを行ってください。

警報器本体は感知部の汚れや部品の劣化により、正常に機能しなくなる場合がありますので、使用開始から10年を目途に新しい警報器をお買い求めいただき、交換してください。

※上記の処置を行っても解決しない場合は工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。



通信テスト終了後、全ての警報器の動作表示灯(短点滅)を確認し、テストボタンを押して「通信テスト正常です」と鳴ることを確認してください。

**通信テスト正常の場合**

**注意** 一部の警報器しか「通信テスト正常です」と鳴らない場合には2つ以上のグループが出来た可能性がありますので、「11.工場出荷時に戻す」を参照し、警報器を工場出荷時の設定に戻し、もう一度登録を行ってください。

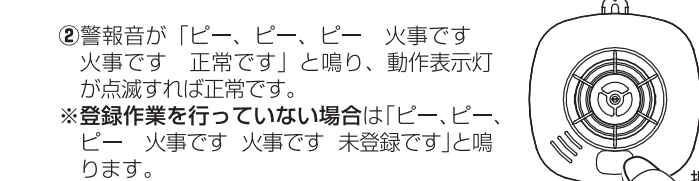
全ての警報器から、「通信テスト正常です」と鳴ります。また、通信テスト終了後、動作表示灯が短く点滅し(約3分間)、テストボタンを押すことにより1回「通信テスト正常です」と鳴り通常状態に戻ります。(約3分を経過した場合も通常状態に戻ります)

### 電波が届かなかった警報器がある場合

電波が届かなかった警報器がある場合、操作した警報器と正常に電波が届いた警報器から「ピッピッ 通信テスト異常です 別の警報器を確認してください」と鳴ります。この場合以下の手順で対応を行ってください。

- ①全ての警報器を確認し、動作表示灯が消灯している警報器(電波が届かなかった警報器)を探してください。電波が届いた警報器は約10秒周期で短く2回点滅し、テストボタンを押すと「ピッピッ 通信テスト異常です 別の警報器を確認してください」と鳴ります。電波が届かなかった警報器のテストボタンを押すと「ピー、ピー、ピー 火事です 火事です 正常です」と鳴りますが、通信テストの電波が届いておらず②の対応が必要です。

- ①テストボタンまたは引きひもを操作し、「ピッ」と鳴ったら手を離してください。  
※引きひもの取り付け方は「1.各部の名称とはたらき ⑥」をお読みください。
- ②警報音が「ピー、ピー、ピー 火事です 正常です」と鳴り、動作表示灯が点滅すれば正常です。  
※登録作業を行っていない場合は「ピー、ピー、ピー 火事です 火事です 未登録です」と鳴ります。



故障の場合は「ピッ 故障です」と鳴り、電池切れ(または引きひもを引く)の場合は「ピッ 電池切れです」と鳴り、電波が届いていない場合は「ピッピッ 通信テスト異常です 別の警報器を確認してください」と鳴ります。警報音が鳴らない場合、または動作表示灯が点滅しない場合は「13.故障かな?…と思ったら」をお読みください。

### 電池切れがおきた場合

**電池切れになった場合**

電池切れになった警報器は、グループ登録から外す必要があります。以下の手順でグループからの削除を行ってください。

- ①電池切れになった警報器を取り外します。
- ②登録ボタンを長押しし(約3秒間)、「ピッピッ」と鳴ったら手を離すと「削除モードです」と鳴り、削除処理を開始します。
- ③「削除しました」と鳴ったら終了です。登録回数によっては数分かかることがあります。

警報器をグループから削除した場合には、必ず通信テストを行い全ての警報器に正常に電波が届いていることを確認してください。

**注意** 中継動作をしている警報器を削除した場合通信テストで異常となることがあります。その場合は全ての警報器を「11.工場出荷時に戻す」登録を行った後に再度取り付けて通信テストを行ってください。

**注意** グループ登録から削除した警報器は連動しません。お早めに替わりの警報器をお買い求めいただき、追加登録を行った上で取り付けてください。

### 操作した警報器で「削除できません」と鳴った場合

電池切れになった警報器が、何らかの理由で通信ができない場合に「削除できません」と鳴ります。その場合は、別の警報器の登録ボタンを長押しし(約3秒間)、「ピッピッ」と鳴ったら手を離すと、同一グループに登録された全ての電池切れまたは故障した警報器の削除処理を開始します。「別の警報器を削除しました」と鳴ったら終了です。登録回数によっては数分かかることがあります。

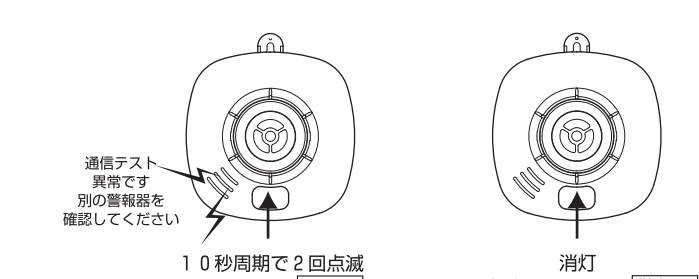
※電池切れが起きていない状態で削除の操作をした場合、「削除できません」と鳴ります。

## 13 故障かな?…と思ったら

テストなどで「故障かな?…と思ったら」ときは、修理やサービス依頼をされる前に、下表に従って点検および処置を行ってください。

状態	点検	処置
火災ではないのに警報器が動作する。	コンロや発熱源の直近に警報器が設置されていないか? 調理の熱が滞留していないか?	コンロや発熱源から水平距離で50cm以上離れた位置に設置してください。 窓やドアを開け換気する。
テストボタンまたは引きひもを操作しても動作しない。	②.全ての警報器の電源を入れる」操作を行ったか? 他の警報器で登録などを行っているか?	②.全ての警報器の電源を入れる」に従い正しく警報器の電源を入れてください。 他の警報器の操作が終わってから操作を行う。
警報音が50秒おきに「ピッピッ」約1時間おきに「ピッ」別の警報器が電池切れです。	照明器具の近くに「ピッ」別の警報器が電池切れです。	⑨.電波状態の自動確認」の「自動通信テストが異常だった場合」に従って対処してください。
警報音が50秒おきに「ピッピッ」約1時間おきに「通信テスト異常です」別の警報器を確認してくださいと鳴る。	警報器の故障が考えられます。工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。	
警報音が鳴りやまない。		警報器の故障が考えられます。工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

※上記の処置を行っても解決しない場合は工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。



- ②動作表示灯が消灯している警報器を他の警報器となるべく近くに設置し直す、警報器の周囲の電波を遮断する障害物を取り除く、周囲の電気機器を遠ざけるなどの対応を行ってください。
- ③上記手順の後、通信テストを再度行い、「通信テスト正常です」と鳴れば正常です。

### 通信テスト操作をした警報器で「通信テスト異常です 通信できません」と鳴った場合

他の警報器に電波が届かない場所、通信テスト操作をした警報器が設置されている可能性があるため、以下の手順で対応を行ってください。

- ①操作した警報器を他の警報器となるべく近くに設置し直す、警報器の周囲の電波を遮断する障害物を取り除く、周囲の電気機器を遠ざけるなどの対応を行ってください。
- ②①の手順の後、通信テストを再度行い、「通信テスト正常です」と鳴れば正常です。
- ※②の手順の後でも「ピッピッ 通信テスト異常です 通信できません」と鳴った場合、操作した警報器を、既に取り付けている別の任意の警報器の近くに持っていき、通信テストを再度行ってください。その後も「ピッピッ 通信テスト異常です 通信できません」と鳴った場合は、警報器が故障している可能性があります。工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

## 7 故障を自動でお知らせ【自動試験機能】

この警報器は故障を検知したとき、自動的に「警報音」でお知らせします。

**注意** 自動試験機能では、全ての故障は検知できません。

### 故障を検知したとき…

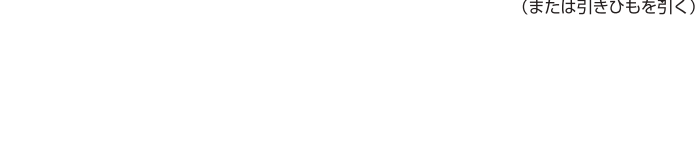
故障を検知した警報器は動作表示灯が約10秒おきに3回点滅し、故障警報音が約50秒おきに「ピッピッピッ」、約1時間おきに「ピッ」故障です。ピッ故障です。ピッ故障です。と鳴ります。連動先の警報器では動作表示灯が約50秒おきに3回点滅し、故障警報音が約50秒おきに「ピッピッピッ」、約1時間おきに「ピッ」別の警報器が故障です。ピッ別の警報器が故障です。ピッ別の警報器が故障です。と鳴ります。

※電波状態により連動先の警報器が鳴るまでに数分かかる場合があります。

### 故障警報音を止めるには

故障を検知した警報器のテストボタンまたは引きひもを操作すると全ての警報器の故障警報音が停止します。故障の状態が継続している場合には、故障を検知した警報器のみ約12時間後に再び故障警報音が鳴ります。連動先の警報器でテストボタンまたは引きひもを操作すると、故障を検知した警報器以外の故障警報音が停止します。

- ※一時停止中、再び操作するとその時点から故障警報音が約12時間停止します。
- ※動作表示灯は故障の状態が継続している間、点滅し続けます。工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。
- ※電波状態により連動先の警報器が鳴るまでに数分かかる場合があります。



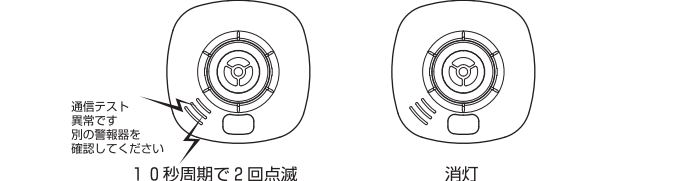
## 9 電波状態の自動確認(自動通信テスト)

本警報器は、電波が届いているかどうかを確認するため、約72時間間隔で自動通信テストを行います。自動通信テストの結果、異常が継続した場合お知らせします。

### 自動通信テストが異常だった場合

自動通信テストが異常だった場合は、動作表示灯が点滅し約1時間「ピッピッ 通信テスト異常です 別の警報器を確認してください」と鳴ります。電波が届かない場所に警報器が設置されている可能性がありますので、以下の手順で対応を行ってください。

- ①全ての警報器を確認し、動作表示灯が消灯している警報器(電波が届かなかった警報器)を探してください。電波が届いた警報器は約10秒周期で短く2回点滅し、テストボタンを押すと「ピッピッ 通信テスト異常です 別の警報器を確認してください」と鳴ります。電波が届かなかった警報器のテストボタンを押すと「ピー、ピー、ピー 火事です 火事です 正常です」と鳴りますが、通信テストの電波が届いておらず②の対応が必要です。



- ②動作表示灯が消灯している警報器を他の警報器となるべく近くに設置し直す、警報器の周囲の電波を遮断する障害物を取り除く、周囲の電気機器を遠ざけるなどの方法を行ってください。
- ③①～②の手順の後、「5.通信テスト」を参照し、正常に動作することを確認してください。

## 14 アフターサービス

- 1.保証書  
保証書はこの取扱説明書に付いています。保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 2.保証期間中に修理を依頼される場合  
保証期間はお買い上げ日から1年間です。取扱説明書「13.故障かな?…と思ったら」に従って調べていただき、まだ異常があるときは、工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先まで修理をご依頼ください。  
修理依頼される時に必要な内容  
ご住所・お名前・電話番号・商品名・商品記号・お買い上げ日・異常内容
- 3.アフターサービスについてのお問い合わせ  
保証期間中の修理などアフターサービスについて不明な点がありましたら、工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までお問い合わせください。

## 15 電池の取り出し【不要になったときのゴミの分別】

**注意** (電池の交換について)  
使用中は電池カバーを開けないでください。通常の使用状態で交換の必要はありません。電池寿命は約10年間ですが、お住まいの自治体により、電池寿命が短くなる場合があります。約10年未満で電池の残量が少なくなり、「8.電池切れを自動でお知らせ」の電池切れ警報音が鳴った場合は、新しい警報器をお買い求めください。電池交換(有償)が必要な場合は、工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

**注意** 警報器の交換期間は、通常の使用状態で約10年です。10年を経過した警報器は電池を交換して使用しないでください。

(不要になったときのゴミの分別について)  
本器と本器に使用の電池は一般の燃焼ゴミとして廃棄できますが、具体的な廃棄方法は、お住まいの自治体の規定に従ってください。分別廃棄する場合は下記の手順で電池を取り外してください。電池を廃棄する場合は、コネクタ部を絶縁テープで覆った上でお住まいの自治体の規定に従って廃棄してください。



## 6 ご使用方法

### 火災の場合

火災により熱が発生し、警報器が熱を感知すると、動作表示灯が点滅します。連続して熱を感知すると火災警報音が「ピー、ピー、ピー 火事です 火事です」と繰り返し鳴ります。連動先の警報器では「ピー、ピー、ピー別の警報器が動きました」と鳴ります。※熱を感知してから火災警報が鳴り始めるまでの時間は設置環境により変化します。※電波状態により連動先の警報器が鳴るまでに数分かかる場合があります。

●火元を確認し、119番へ通報するなど適切な処置をしてください。

●火災の状況に応じて避難してください。

### 火災警報音を止めるとき

●熱を感知した警報器のテストボタンまたは引きひもを操作すると全ての警報器の火災警報音が一時的に停止します。また、連動先の警報器でテストボタンまたは引きひもを操作すると、熱を感知した警報器以外の火災警報音が一時的に停止します。熱感知部の内部に熱が残っている場合は、動作表示灯が点滅し続け、約14分後に再び火災警報音が鳴ります。また、火災警報音を止めた後に、内部の熱が無くなるまで、14分以内でも自動的に、熱を感知すると動作する状態にもどります。

※通常熱が無ければ火災警報音は自動的に停止し、動作表示灯も消灯します。連動先の警報器が停止するまでに数分かかる場合があります。

### 故障がおきた場合

●故障になった場合  
故障になった警報器は、グループ登録から外す必要があります。以下の手順でグループからの削除を行ってください。

- ①故障になった警報器を取り外します。
- ②登録ボタンを長押しし(約3秒間)、「ピッピッ」と鳴ったら手を離すと「削除モードです」と鳴り、削除処理を開始します。
- ③「削除しました」と鳴ったら終了です。登録回数によっては数分かかる場合があります。

警報器をグループから削除した場合には、必ず通信テストを行い全ての警報器に正常に電波が届いていることを確認してください。

**注意** 中継動作をしている警報器を削除した場合通信テストで異常となることがあります。その場合は全ての警報器を「11.工場出荷時に戻す」登録を行った後に再度取り付けて通信テストを行ってください。

**注意** グループ登録から削除した警報器は連動しません。お早めに替わりの警報器をお買い求めいただき、追加登録を行った上で取り付けてください。

### 操作した警報器で「削除できません」と鳴った場合

故障になった警報器が、何らかの理由で通信ができない場合に「削除できません」と鳴ります。その場合は、別の警報器の登録ボタンを長押しし(約3秒間)、「ピッピッ」と鳴ったら手を離すと、同一グループに登録された全ての電池切れまたは故障した警報器の削除処理を開始します。「別の警報器を削除しました」と鳴ったら終了です。登録回数によっては数分かかる場合があります。

※故障が起きていない状態で削除の操作をした場合、「削除できません」と鳴ります。

## 10 電波のチャンネル変更について

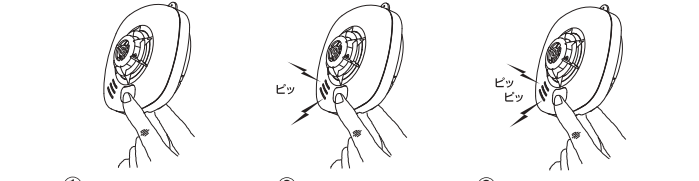
**注意** 登録する全ての警報器を同じチャンネルに設定する必要があります。チャンネルの変更は必要ありません。登録操作ができません。また、登録操作後にチャンネルを変更した場合は連動しません。

この警報器は電波のチャンネルを4つから選択することができますが、通常はチャンネルの変更は必要ありません。特に理由がない場合はチャンネルを変更しないでください。テストボタンと登録ボタンの両方を同時に押すと、現在のチャンネルをお知らせします。工場出荷時はチャンネル1です。続けてテストボタンと登録ボタンの両方を同時に押すと、チャンネルが、1→2→3→4→1…と切り変わります。

## 11 工場出荷時に戻す(警報器の初期化)

初期化後は、もう一度警報器の登録を行ってください。

一度登録した警報器を別のグループに登録したい場合や、登録時に異常があり登録操作をやり直したい場合などにこの操作を行い、警報器を工場出荷時の設定に戻します。



- ①表面のテストボタンと裏面の登録ボタンの両方を同時に長押しします。
- ②「ピッ(約1秒後)」と鳴ったら手を離します。初期化処理を開始し、工場出荷時に戻ります。
- ③「ピッピッ(約5秒後)」と鳴ったら手を離します。

なお、一個の警報器でこの操作を行った場合、同一グループに登録した全ての警報器でこの操作を行ってください。その後、再度登録処理を行ってください。

## 16 仕様

商品名	無線式住宅用火災警報器	警報音量	70dB/m以上
商品記号	SA5610-1A	寸法	100mm×100mm×46.7mm(9割付クックを抜く)
型式番号	住警第29-8号	質量	約145g
定価	3V 350mA	使用温度範囲	0℃～40℃(結露なきこと)
電源	3Vリチウム電池2本(内蔵)CR17450E-NC-N4(FDK)	警報音	音声警報「ピー、ピー、ピー 火事です」
電池寿命	約10年 ※	無線規格	電波式リチウムイオン(LIS20-S0)
感知方式	熱式(定温式)	使用周波数帯	426MHz Z帯
試験機能	自動試験機能		
最大接続数	15台		

警報動作一覧表

	状況	通動元	連動先
表示ランプ(赤色LED)	火災時	点滅(0.5秒点灯、0.5秒消灯の繰り返し)	8秒毎に3秒点灯(0.5秒点灯、0.5秒消灯の繰り返し)
	電池容量低下時	10秒毎に1回点滅	50秒毎に1回点滅
	故障時	10秒毎に3回点滅	50秒毎に3回点滅
	電波異常時	10秒毎に2回点滅(電波を受信しない警報器は消灯)	
警報音(音声、警報音)	火災時	「ピー、ピー、ピー 火事です 火事です」(警報音はスリープ音)	「ピー、ピー、ピー」別の警報器が作動しました(警報音はスリープ音)
	故障時	50秒毎に1回「ピッピッ」と同時鳴動 約1時間毎に3回「ピッ」別の警報器が故障です	50秒毎に1回「ピッピッ」と同時鳴動 約1時間毎に3回「ピッ」別の警報器が故障です
自動通信テスト異常時	電波を受信できた警報器	50秒毎に1回「ピッピッ」と同時鳴動 約1時間毎に1回「通信テスト異常です 別の警報器を確認してください」	電波を受信できない警報器
	電波を受信できなかった警報器	50秒毎に1回「ピッピッ」と同時鳴動 約1時間毎に1回「通信テスト異常です 別の警報器を確認してください」	無音